

2019年度 F3C 日本選手権地区予選 実施要項案

主催	地区予選引受団体
公認	日本模型航空連盟
予選期日	2019年6月29日(日)までに実施、終了すること。 ★事前実施要項を所定の用紙により3月31日までに必着するように連盟事務局に郵送で提出して下さい。提出が無いときは補助金が出ません。(3月上旬に予選引受団体に送付) ★予選実施後すみやかに <u>連盟所定の用紙</u> により報告書を提出して下さい。報告書には選手の模型飛行士登録番号、連絡先住所電話番号を必ず記入すること。 ★ <u>起用する審査員については事前(事前実施要項)にRCヘリコプター委員会に届け出てください。</u>
地区予選	北海道地区 3名 *北海道模型連盟
選出者数	東北地区 3名 *東北RCヘリコプター協会
委嘱団体	東日本地区 9名 *東日本RCヘリコプター委員会
	北陸中部地区 5名 *北陸中部予選実行委員会
	西日本地区 9名 *関西模型クラブ連合会
	九州地区 5名 *九州RC模型航空連合会
予選免除	8名 (平成30年度1位～8位) 合計42名
競技規定	FAI・F3C規定 2018,2019 地区予選限定スケジュールP(含、平成30年統一見解)
参加資格	日本国籍を有し、2019年度予選日有効の模型飛行士登録者。 <u>フエルセーフ(動力カット)を設定し動作確認済みであること。</u>
審査員	F3C審査員ライセンス所持者(2019年度有効、2019規定受講者)に限る。5名による一演技毎の上下カット方式を全予選地区で実施して下さい。
計算方法	全予選地区とも原則として2ラウンドを行いベストラウンドの成績で順位を決定する(F3CScoreCalcV1.06使用)。ラウンド毎に規定で決められた1000分比による計算をして下さい。
周波数	日本国内法による周波数。2.4GHZの使用を推奨する(<u>日本国内認定をされているもの</u> に限る)。
同点処理	下限通過者と補欠が同点の場合は捨てたラウンドの点数を加算して順位を決定する。それでも同点が解消しないときは素点の高い方を上位とする。なお、それでも解消しないときはフライオフを行う。
指定燃料	日本模型航空連盟認定シール貼付のエコロジー燃料(オイル10%または、ニトロ15%オイル18%)を使用しなければならない。競技役員が燃料缶の連盟認定シールを確認し、立ち会いの上給油をする。電動機の電池電圧は無負荷で51V以下。

予選参加申込締切は航空法改正により許可申請の必要がある予選地区は開催日の1ヶ月前とする。

JPNナンバーの表示が無い機体は参加出来ません。

※本年度地区予選引受団体は消火器、風速計および直流電圧計を必ず用意すること。

予選期間中の主催者保険は連盟で加入いたします。事故があった場合は当該選手が全責任を負う。

※その他の表記していない事項については日本選手権に準じる。騒音測定を行う場合は予選では測定値は参考とする。

※平成19年から競技場内(駐車場を含む)で競技期間中のアルコール飲料の飲用を禁止です。(場内に掲示すること)

※ジャイロについて:予め演技操作のプログラムをしたもの、および位置、高度をロック出来るものは使用できない。

電動機で参加する選手は各自で消火器を用意すること。消火に要した費用は該当選手が負担すること。

◆予選通過者の日本選手権出場申込締切日は7月22日(消印有効)迄です。なおF3C技能検定証C級資格以上が必要
です。締切日以降の消印の申込は受理いたしません。申込金を返却の上、補欠を繰り上げる。

◆不服、異議申し立ては当該選手が競技委員長に申し出る。競技委員長は審査員と協議して裁定する。

地区予選管轄区域

北海道地区	全道
東北地区	青森県 秋田県 岩手県 宮城県 山形県 福島県
東日本地区	東京都 埼玉県 神奈川県 千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 山梨県 長野県 新潟県 静岡県
北陸中部地区	愛知県 岐阜県 富山県 石川県 福井県
西日本地区	大阪府 京都府 兵庫県 滋賀県 奈良県 和歌山県 三重県 岡山県 広島県 山口県 島根県
	鳥取県、徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州地区	福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県